

氷川中生 体験学習 楽しいね 販売



チャレンジショップでテキパキと接客する氷川中の3年生=氷川町

氷川町の氷川中3年生43人が5日、町公民館で、食品や雑貨を地元の事業所や農家から仕入れて販売する「チャレンジショップ」を開き、買い物客でにぎわった。氷川中が総合学習の一環として2007年度から毎年続けている。

生徒たちは1、2年生の時に農作業や職場体験で訪れた農家や事業所などに協力してもらい、事前に商品の仕入れ交渉を体験。売値を決めて本番を迎えた。



おススメ
ぶれすけ

(平井智子)

感謝込めて地元商品販売

氷川中3年生 自ら仕入れ、価格決定



声を張り上げて商品を販売する生徒たち

氷川町の氷川中3年生43人が5日、事業所や農家と

交渉して仕入れ、価格を決めて商品を販売する「チャレンジショップ」に取り組んだ。総合的な学習を促した11回目の企画。

毎年、1、2年生が農作業や職場体験で校区的農家や事業所の世話になっており、恩返しを兼ねて実施。

会場の町公民館には、特産のナシやシヨウガ、イ草商品、食油、菓子や雑貨などがずらりと並び、生徒たちは大声で売り込んだり、試食してもらったりして住民や保護者らに販売した。生徒会長の今田優弥さん

(14)は「地域の方が笑顔で買ってくれたのがうれしい」。常連という新垣有美子さん(67)は「いつも生徒の元気の良さに元気づけられる」と話した。

(宮上良二)